

ただいま上程されました追加議案の概要について御説明を申し上げます前に、一言御報告を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてであります。本県の新規感染者数は、3月上旬以降、再び増加傾向を示しており、経路不明の感染者の増加後に複数の集団感染が確認されるなど、昨年末から年始にかけて感染者が急増した状況と同様の傾向となっております。また、首都圏の1都3県を対象区域とした緊急事態宣言が今年21日をもって解除されたほか、今後、春休みや年度の切り替わりを迎え、人の往来が活発化することが想定されることから、感染の再拡大に 심각한警戒が必要な状況にあります。

県といたしましては、こうした感染状況等や本県の有識者会議の御意見を踏まえ、今年19日に開催した新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、警戒度レベルを県版ステージ 2.5の「嚴重警戒」に引き上げ、必要な感染防止対策を継続・強化することといたしました。

県民の皆様には、今年20日から4月11日までの間、緊急事態宣言が解除された1都3県への不要不急の移動を避けることや歓送迎会等の自粛等を要請しております。

また、事業者の皆様には、職場関係の大人数での会食を控えることを要請しているほか、テレワークやオンラインビジネスの推進等に御協力くださるようお願いしております。

さらに、外国人の感染者数が増加していることから、市町等と連携して、外国人への注意喚起に一層取り組むとともに、社会福祉施設に対しては、改めて、感染防止対策の徹底を依頼しております。

県民や事業者の皆様には、マスクの着用や換気をはじめ、3密の回避や手洗い、「会話する^は＝マスクする」運動への参加等の基本的な感染防止対策を徹底していただくよう強くお願い申し上げます。

今後とも、国や市町、関係機関等と緊密に連携し、必要な対策に万全を期して参ります。

次に、本県における東京2020オリンピック聖火リレーにつきましては、来る3月28日及び29日の実施に向け、大会組織委員会から示された新型コロナウイルス感染症対策に係るガイドライン等を踏まえ、本県の運営マニュアルを策定し、沿道等の密集防止対策や運営スタッフの体調管理等に取り組んでいるところであります。

引き続き、関係市町等と連携しながら、ランナーやセレモニー出演者をはじめ、応援する県民の皆様が安心できる安全な聖火リレーとなるよう、準備を進めて参ります。

次に、追加議案の概要について御説明申し上げます。

今回提出いたしました議案は、条例1件、その他の議案1件の計2件であります。

まず、追第21号議案は、令和3年4月1日から令和6年12月8日までの間、知事等の給料月額及び期末手当の額を減額するため、新たに条例を制定するものであります。

追第22号議案は、栃木県監査委員関谷暢之氏及び小林幹夫氏から来る3月31日をもって退職したい旨の申出がありましたので、その後任として中島宏氏及び岩崎信氏が最も適任であると考え、その選任について同意を求めるものであります。

以上が、今回提出いたしました追加議案の概要であります。

何とぞ、よろしく御審議の上、議決されますようお願い申し上げます。